



# 令和3年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書（令和2年度対象）

## 【概要版】

### 点検・評価の基本的な考え方

<b>趣旨</b>	○目的 効果的な教育行政の推進をはかるとともに、市民への説明責任を果たす ○根拠 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条 ○取扱 報告書を議会に提出・市民公表	<b>対象</b>	○令和2年度に実施した取り組み
<b>方法</b>	○帯広市教育基本計画の「個別施策」ごとに実施 ○取り組みの成果と、課題・今後の方向性の2つの観点から点検・評価	<b>学識経験者の知見の活用</b>	○学識経験者から意見・助言をいただき、点検・評価の客観性を確保するとともに、今後の取り組みに向けて活用をはかる

### 点検・評価の結果

**基本目標 夢の実現に向けて自立し 互いに支え合う人づくり**

**基本施策1 帯広の明日を拓く力の育成**

#### 個別施策1 ふるさと教育の推進

指標名	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることができる子どもの割合 (%)						目標値 (R11)
	基準値 [H27~R1平均]	R2	R3	R4	R5	R6	
小学	44.7	39.4					600以上
中学	39.1	38.9					550以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
地域資源を活用したふるさと理解の促進	○「おびひろ市民学」における、郷土への愛着や誇りの育成、地域社会の一員としての意識を育む教育の推進 ○各種教育施設での展示や各講座等を通じた学びの機会の提供	○引き続き「おびひろ市民学」による系統的な学びをすすめる ○地域資源や特色を生かした様々な体験機会を提供する
食を通じたふるさと理解の促進	○地場産食材を活用した「ふるさと給食」の提供等を通じた地域の食や産業への理解促進、食に対する感謝の心の醸成、農業への興味・関心の向上	○引き続き地場産食材を活用した「ふるさと給食」の提供等を通して、地域産業への理解促進に向けた教育をすすめる
地域社会に参画する意識の醸成	○各団体等と連携し体験活動や宿泊研修を通じた地域や学校での活動に取り組む青少年リーダーの養成の実施 ○租税の役割や公共施設の整備について理解促進のほか、ボランティアや防災活動への参加等の促進	○リーダー養成事業の積極的な周知等、今の時代に合った養成事業の充実をはかる ○消費者の権利や責任ある消費行動を理解し、計画的な金銭管理の必要性や契約の仕組み等の基本的な知識を身に付ける教育をすすめる
環境教育の推進	○地球規模で進む環境破壊や自然災害について、実社会との結びつきを意識した教育の促進、児童会館での展示や科学教室、百年記念館の出前講座等により環境について学ぶ機会を提供	○学校での環境教育推進のため、帯広の自然や施設を活用した体験機会を設けるほか、学校以外の教育施設を活用し、地域の自然環境を学び、考える機会を設ける

#### 個別施策2 職業観の育成

指標名	人の役に立つ人になりたいと思う子どもの割合 (%)						目標値 (R11)
	基準値 [H27~R1平均]	R2	R3	R4	R5	R6	
小学	93.6	93.8					100.0
中学	94.6	95.6					100.0



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学校におけるキャリア教育の推進	○多様な職業の理解促進のため、インターネットを活用した調べ学習等の実施 ○職業体験活動等の授業は、感染症の影響により例年より実施件数が減少	○「おびひろ市民学」において、新たな学習や生活への意欲の育成に取り組めるよう、指導・助言を継続する ○キャリア教育の好事例について、学校間連携がはかれるよう情報共有をすすめる
職業体験機会の充実	○おびひろキッズタウン及び多くの施設の職業体験関連事業は感染症の影響で不実施 ○動物園では各学校からの依頼による職業調べや講話で、飼育員の仕事を教える機会を提供	○おびひろキッズタウンは感染症対策を含めた運営方法や開催時期等の協議を行いながら実施 ○施設においては感染症流行の状況に応じて、職業体験の機会を提供する

#### 個別施策3 情報教育の推進

指標名	授業でコンピュータなどのICTを活用したいと思う子どもの割合 (%)						目標値 (R11)
	基準値 [R1]	R2	R3	R4	R5	R6	
小学	87.4	81.0					900以上
中学	73.8	79.0					800以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
情報活用能力の育成	○情報を整理・比較し、発信・伝達する力の育成のため、各学校においてコンピュータ等のICTを活用した学習活動を実施	○一人一台端末を活用するほか、ICTを活用したスマート農業等、地元企業と連携しICTの活用に関する学習をすすめる
情報モラルの育成	○情報による影響、著作権やプライバシーの保護等についての理解を促進するよう教育課程を編成	○インターネットの利用に伴う危険性やフィルタリング機能の活用等の啓発を行い、関係機関・家庭等と連携して情報モラル育成及び安全利用に関する啓発をすすめる
プログラミング教育の推進	○各学校において、プログラミング的思考やICTを活用するために必要な資質・能力の育成を実施	○一人一台端末を活用して、各学校が教育課程へ位置付け、モデル授業や校内実技研修を開催する

#### 個別施策4 国際理解教育の推進

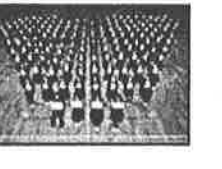
指標名	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う子どもの割合 (%)						目標値 (R11)
	基準値 [H29~R1平均]	R2	R3	R4	R5	R6	
小学	66.3	-					75.0以上
中学	64.4	-					75.0以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
外国語を用いたコミュニケーション能力の育成	○各学年段階のつながりを意識した系統的な指導の実施 ○学年に応じた体験的なコミュニケーション活動の取り組み	○引き続き外国語指導講師の活用に向けた研修を行い、授業力の向上をはかる ○外国語指導講師等の活用による児童生徒のコミュニケーション能力向上をすすめる
多様な国の伝統・文化に関する理解の促進	○学校における授業のほか、外国語指導講師との交流等による、多様な国の伝統・文化に触れる機会の提供	○外国語指導講師による外国語のサポート学習に取り組むほか、体験的な活動を重視した国際理解教育の実践をすすめる

#### 個別施策5 南商業高等学校における教育の推進

指標名	地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合 (%)						目標値 (R11)
	基準値 [R1]	R2	R3	R4	R5	R6	
-	26.7	15.7					50.0以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
商業教育の充実	○商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習により、卒業までに全国商業実務検定の1級を3種目以上取得した生徒の割合89.8%（道内1位）達成	○商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習を通じて、実践力を高める指導をすすめるほか、多様な進路に対応した教育課程の編成に取り組む
地域経済に貢献する人材の育成	○進路指導や模擬面接等の即戦力となる人材育成や、企業等との連携をすすめた結果、就職・進学ともに内定率100%達成	○外部講師による講習会の開催のほか、進路指導や模擬面接等の即戦力となる人材育成の充実に取り組む
地域社会との連携・協働による教育の推進	○学校評価を活用し、学校の運営状況や教育活動について改善をはかる取り組みの実施	○学校評価を活用し、学校の運営状況や教育活動の改善をはかるほか、コミュニティ・スクールの導入をすすめる
地域とつながる活動の推進	○感染症流行により、地域住民向けの学校開放講座は中止 ○部活動実施制限や学校行事等の中止等に伴い、ボランティア活動機会も減少	○学校開放講座は、感染症対策としてリモートやオンラインでの開催等を検討する ○ボランティア活動は、感染症の状況を見定め、主催者等と連携して取り組む

基本施策2 変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

個別施策6 学びを生かす力の育成

成果指標の状況						
指標名	授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると認める子どもの割合 (%)					
	基準値 [H30~R1平均]	R2	R3	R4	R5	R6
小学	75.8	71.7				85.0以上
中学	79.8	75.7				85.0以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学校における授業の工夫・改善	○学習の目標を示し、授業の最後に振り返る活動やグループで話し合う活動等、「主体的・対話的で深い学び」の視点を重視した授業を実施	○一人一台端末を活用した授業の推進により、個別最適化された学びや協動的な学びをすすめる
学習活動の支援	○常時ダウンロード可能な小中学生向け教材の教育研究所ホームページへの掲載や、朝の読書や調べ学習等における「ぶっくる便」の活用ほか、放課後の学習会開催等の学びの機会を提供	○一人一台端末で活用できる教材作りや「ぶっくる便」の計画的な入替による児童にとっての魅力的な図書等の提供のほか、感染症の流行に伴う学級閉鎖等に備え、オンラインも活用した学びの保障をすすめる
教育課程の工夫・改善	○各学校における学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成及び実施を支援するため、「教育課程編成の手引き」を作成	○目標の実現に必要な教育の内容等を、教科等横断的な視点で組み立てるカリキュラム・マネジメントの充実をすすめる
学力の分析・検証	○OERT 学力検査の分析結果をまとめた「帯広の子どもの学力」を全小中学校に、参考となる学校の取り組みを集めた「授業改善通信」を全教職員に配付	○分析・検証の精度を高めるため、より検査母数の多い学力検査の提供元を模索や、小学校外国語の教科化による新しい検証の方法等について検討する
体験的・問題解決的学習の推進	○学校における授業のほか、児童会館での科学実験・工作、図書館での帯広畜産大学と連携した講義会の開催等、科学や自然に対する興味・関心を高め、科学的なものの見方や考え方を養う体験的な学習を推進	○図書館では子どもたちが興味を持って意欲的に調べる学習テーマ選定、児童会館では学校ニーズを踏まえた学習機会を提供し、感染症の流行に伴う各種体験学習等の実施制限の可能性を考慮し、オンライン活用等による実施方法の工夫をすすめる

個別施策7 豊かな人間性と創造性の育成

成果指標の状況						
指標名	学校の友達と語り合う活動を通して、自分の考えを確かめたり、広げたりすることができると思う子どもの割合 (%)					
	基準値 [H27~R1平均]	R2	R3	R4	R5	R6
小学	69.7	70.7				85.0以上
中学	71.1	79.5				85.0以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
道徳教育の充実	○道徳に関する研修や授業公開の取り組みを通して、「考え、議論する道徳」に向けた授業改善を推進	○他教科との関連や評価の充実等により道徳科を要とした教育活動を展開し、子どもたちの道徳性の育成をすすめる
読書活動の推進	○読み聞かせ等の図書ボランティアの協力や朝読書等を通じた子どもたちの読書活動への興味関心の促進のほか、学校と図書館が連携した取り組みを推進	○電子書籍の活用による多様な読書機会の確保、図書ボランティアや司書教諭及び関係部署との連携促進を通して読書活動の活性化をすすめるほか、「語り手育成講習会」等により新規ボランティアを養成する
文化芸術活動の推進	○子どもたちの感性や創造力を育むため、各授業等で多様な文化芸術の体験的な学習をすすめたほか、子ども向けの鑑賞事業により芸術文化に触れる機会を提供	○ICTを活用した演劇鑑賞等の文化芸術に触れる機会の提供や、学習発表会や文化祭の様子発信等を通じ、感染症対策を講じながら子どもたちの情操教育をすすめる
体験活動の推進	○地域の特色を生かした体験活動展開のため、各種社会教育施設と連携した様々な体験等の「児童生徒が触れて学ぶ」機会の提供	○各種社会教育施設と連携し、感染症対策を講じたうえで、子どもたちに豊かな体験活動機会の提供をすすめる

個別施策8 健やかな体の育成

成果指標の状況						
指標名	朝食を毎日食べている子どもの割合 (%)					
	基準値 [H27~R1平均]	R2	R3	R4	R5	R6
小学	94.0	91.0				100.0
中学	93.6	94.0				100.0

成果指標の状況						
指標名	1週当たり60分以上運動・スポーツをする子どもの割合 (%)					
	基準値 [H26~30平均]	R2	R3	R4	R5	R6
小学	88.5	—				95.0以上
中学	85.9	—				90.0以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
体力・運動能力の向上	○各学校における過去の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の検証を踏まえた授業や生活習慣改善の推進	○体力向上推進プロジェクトチームの各校への派遣指導等を通して授業改善等の取り組みをすすめる
安全・安心な学校給食の提供	○安全・安心な地産食材の活用促進のほか、アレルギーを持つ児童生徒向けに学校給食アレルギー対応マニュアルに基づく対応を実施	○適切な栄養バランスの学校給食の提供により児童生徒の健全な心身の発達をはかるとともに、アレルギー情報及び除去食の提供を継続する
正しい「食」への理解の推進	○栄養教諭等による各学校での給食指導の支援や食に関する指導のほか、「食育通信」の配布等による食に関する正しい知識の取得と望ましい食習慣の形成を推進	○子どもたちが「食」に関する正しい知識等に基づき自ら判断し、健全な食生活を実践できる資質・能力の育成をすすめるほか、食に関するおはなし会等を開催する
健康教育・健康保持	○関係団体と連携した学校保健委員会の設置のほか、家庭や関係機関との連携した学校の教育活動全体を通じたがん教育や体育・健康に関する指導の推進 ○物品の購入等による感染症対策の徹底	○子どもたちがLGBTs等の性に関する正しい知識を身に付ける等、自分や他者の価値を尊重し相手を思いやる心を醸成できるよう、発達段階に応じた教育をすすめる ○学校の感染症対策の取り組みを継続する

個別施策9 教員の資質・能力の向上

成果指標の状況						
指標名	授業の改善がよくなると思う子どもの割合 (%)					
	基準値 [H27~R1平均]	R2	R3	R4	R5	R6
小学	82.6	83.1				90.0以上
中学	74.8	71.2				80.0以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
教員の指導力の向上	○指導主事による学校教育指導訪問での、管理職や教職員への指導・助言のほか、教職員向けの研修を開催	○初任段階教員の増加や「主体的・対話的で深い学び」が求められていることのほか、一人一台端末の活用や今日的な課題を取り上げる等、教職員指導力向上に繋がる講座を企画する
教職員の働き方改革の推進	○教職員の勤務状況の改善等に向け、学校開庁日や部活動休養日の設定等のほか、勤務時間管理システムを導入 ○感染症対策を踏まえ、職員向け研修をオンラインの活用等により非対面で開催	○教職員の時間外在校等時間の更なる縮減に取り組むほか、校務支援システムの導入について検討する ○職員向け研修は、感染症の状況次第で柔軟に対応できる体制作りを目指す

基本施策3 地域とともに育む教育の推進

個別施策10 地域との連携・協働の推進

成果指標の状況						
指標名	地域の行事に参加している子どもの割合 (%)					
	基準値 [H27~R1平均]	R2	R3	R4	R5	R6
小学	58.2	50.4				70.0以上
中学	35.2	34.3				50.0以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
地域における支援体制の充実	○コミュニティ・スクールの新たな4校での導入のほか、説明会の開催や他校の好事例の紹介等 ○帯広市学校・家庭・地域協働会議向けの研修会等の開催のほか、基金を活用した団体同士の連携した活動への支援	○令和4年度中に全校でのコミュニティ・スクール導入のほか、指導主事による全国の好事例等の情報提供をすすめる ○学校と地域との連携した活動や地域コーディネーターの研修等のほか、基金を活用してボランティア団体同士の連携した活動の拡大をはかる
子どもの安全対策の充実	○登下校時の見守り活動のほか、災害情報や不審者情報、感染症関連の保護者等への速やかな情報提供のための「帯広市子供安全ネットワーク」の活用 ○子ども110番の家を1,017箇所設置	○地域ぐるみで見守り活動に取り組むほか、保護者がいち早く災害情報や不審者情報を得られるよう、「帯広市子供安全ネットワーク」の周知をすすめる ○登録者の確保により「子ども110番の家」事業の拡充をはかる
地域主体の体験活動への支援	○子どもの居場所づくり事業における、異世代交流や多様な体験活動を通じた豊かな人間性や社会性の涵養促進	○感染症の流行に伴い、子どもの居場所づくり事業を担うボランティア登録者数や参加児童数等が減少していることから、実施方法やPR活動を工夫し、事業を継続する。



一 個別施策 1 1 家庭教育への支援 一

成果指標の状況							
指標名	家の人と学校での出来事について話をする子どもの割合 (%)						
区分	基準値	実績値					目標値 (R11)
	[H27~R1平均]	R2	R3	R4	R5	R6	
小学	778	732					85.0以上
中学	766	778					85.0以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
教育相談の充実	○子どもの進路や友人関係、いじめや不登校等の子どもの教育に関する悩みへの相談に対応するため、家庭訪問相談員を配置	○教育相談員体制のさらなる充実と、より有効な教育相談員の活用をはかるため、配置日数の調整等の工夫をすすめる
家庭教育力向上のための支援	○学校では子どもたちの基本的な生活習慣の確立のため、食事の摂取状況等の記録シートを配布、学校での確認と家庭への助言 ○家庭教育学級での学びの提供、「食育通信」による児童生徒の家庭における食に関する望ましい食習慣等の形成、乳幼児健診時のブックリストの配布による保護者への啓発活動の推進	○学校では子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向け、「おびひろ市民学」を中核とした食育や消費者教育、人権教育等様々な視点から啓発をすすめる ○家庭に向けて家庭教育学級の実施、「食育通信」の配布、図書館における絵本セットの内容の充実等の子育て世帯の支援をすすめる
PTAとの連携の促進	○学校とPTAの間での情報交換、帯広市PTA連合会への補助金の支出、PTAによる各種事業の後援等のPTA活動への支援	○家庭の教育力高揚のため、各校PTAや帯広市PTA連合会等との情報交換をすすめる等、関係団体への行政支援を継続する

一 個別施策 1 2 学びと育ちをつなぐ学校づくりの推進 一

成果指標の状況							
指標名	小・中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合 (%)						
区分	基準値	実績値					目標値 (R11)
	[R1]	R2	R3	R4	R5	R6	
小学	192	192					1000
中学	214	214					1000



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学校間の連携の促進	○各機関でそれぞれ行われている教育への理解を深めるため、職員間交流を通じた情報共有の充実のほか、学びのつながりを意識した教育課程の編成を推進 ○義務教育9年間を見通した教育課程の編成、小中学校の接続を意識した学習指導の推進	○小中一貫教育の更なる充実に向け、教育課程の見直し及び整備をすすめる ○幼保・小中における教育実践への相互理解促進のため、各エリア内の乗り入れ授業等をすすめる、小中教員の部会による教育実践の交流等、情報共有が可能な取り組みをすすめる
通学区域の見直しの実施	○大空学園義務教育学校の開校に向け、大空小学校並びに大空中学校区域を基に通学区域見直しの準備作業を実施	○小中連携や地域ぐるみの教育を一層推進するため、地域コミュニティとの整合性や分散進学への解消等に配慮し、通学区域の見直しをすすめる

基本施策 4 安全・安心な教育環境の整備

一 個別施策 1 3 誰もが安心して学べる教育の推進 一

成果指標の状況							
指標名	「いじめは絶対に許されない」と考える児童生徒の割合 (%)						
区分	基準値	実績値					目標値 (R11)
	[H27~R1平均]	R2	R3	R4	R5	R6	
小学	96.2	97.5					100.0
中学	94.2	96.8					100.0



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
いじめ・非行の防止	○いじめや人権について皆で考え議論する場を設けたほか、地域の指導協力員と街頭巡回指導等を通じた非行防止活動を実施	○いじめの未然防止や就学に対する支援等、誰もが安心して学べる環境整備のほか、街頭巡回指導等や非行防止活動に取り組む
不登校への対応	○不登校傾向の子どもの保護者からの相談対応や助言等のほか、適応指導教室の運営、教育相談等の取り組みを推進	○家庭や児童生徒の悩みの複雑化等の原因の多様化に伴い、教育相談員の専門性の向上や個々に応じた相談体制充実をすすめる
教育機会の確保	○経済的理由による児童生徒の就学が困難な保護者への就学援助費の支給、大学生等への給付金による支援を実施 ○農村地域の遠距離通学児童生徒向けにスクールバスを運行	○各支援制度の適切な運営を通じ、就学や通学に関わる経済的な支援をすすめる ○スクールバス安定運用のため車両更新や運転手確保の検討のほか、帯広市高等学校間口対策協議会を通じた情報収集等を行う
一人ひとりに応じた教育の充実	○特別支援学級の設置やアイヌ子弟の就学支援のため扶助費の支給等による支援や配慮が必要な子どもたちの学びの環境整備 ○農村地域の小規模特認校制度の運用	○教育相談体制の充実をはかり、特別支援学級の継続設置や通級指導教室の開設等により、多様な学びの場の整備をすすめる ○教職員向けの研修で、LGBTsやヤングケアラー等の課題への理解を促進する

一 個別施策 1 4 安全で充実した教育環境の整備 一

成果指標の状況							
指標名	長寿命化改修の実施校数 (校)						
区分	基準値	実績値					目標値 (R11)
	[H30]	R2	R3	R4	R5	R6	
-	0	0					9



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学校施設の整備	○大空学園義務教育学校一期工事の着手、各学校における各種工事及び個別改修のほか、GIGAスクール構想の実現に向けた校内通信ネットワーク整備を実施	○計画的かつ継続的な修繕による学校施設の長寿命化及び機能・性能の改善を行い、教育環境の整備をすすめる
学習環境の整備	○小中における児童生徒の一人一台端末の導入等、GIGAスクール構想を踏まえたICT機器を活用した学習環境整備を実施	○小中では一人一台端末を活用し、情報活用能力の習熟等を通じて自ら問題を解決する力の育成をはかる。南商では商業に関する専門教育の実施や高度な資格取得に寄与するため、情報機器の整備をすすめる
学校適正規模確保の推進	○大空地区義務教育学校準備協議会を開催し、大空学園義務教育学校の校歌、校章等について協議	○児童生徒数・学級数の推計結果を市民へ情報提供するほか、児童生徒数及び学級数を推計し、適正規模の確保等に関する取り組みをすすめる

基本目標 生涯にわたり学び 活躍できる人づくり

基本施策 5 自ら学びともに支える生涯学習の推進

一 個別施策 1 5 学習活動の促進 一

成果指標の状況							
指標名	講座の満足度 (%)						
区分	基準値	実績値					目標値 (R11)
	[R1]	R2	R3	R4	R5	R6	
-	95.5	96.9					100.0



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学習機会や情報の提供	○オンラインでの開催等の感染症対策を行いながら市民大学講座等を開催したほか、生涯学習情報誌「まなびや」等を発行 ○図書館では開館100周年にちなみ、「100年に一度の秘蔵展」を開催 ○百年記念館では動画閲覧ができるよう常設展示室のビデオコーナーを更新 ○動物園ではプロモーションビデオを制作し、ホームページや市内5カ所で巡回展示	○市民大学講座でオンライン配信等により参加しやすい学習機会を設けるほか、生涯学習情報誌により広く情報を提供する ○図書館では必要な情報を引き出しやすい仕組みづくりの検討をすすめる ○百年記念館では感染対策を踏まえた開催方法を検討し、講座や展示を実施する ○動物園では利用者ニーズに応えられるオンライン講座を開催する

一 個別施策 1 6 学習を通じたまちづくり 一

成果指標の状況							
指標名	学習成果をまちづくり、地域づくりなどに生かしたいと思う市民の割合 (%)						
区分	基準値	実績値					目標値 (R11)
	[R1]	R2	R3	R4	R5	R6	
-	26.3	21.5					31.0以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
自主的な学習活動の支援	○帯広図書館友の会の活動の支援を実施 ○百年記念館、動物園でボランティアと連携した企画展や活動機会を提供 ○生涯学習推進委員会が行うコミュニティ講座は、感染症対策を徹底し活動実施	○帯広図書館友の会の役員との情報交換等により、相互に連携を深める ○百年記念館、動物園のボランティア人員の充実に向けた支援を継続する ○生涯学習推進委員会等の社会教育団体が地域で行う多様な活動の支援を継続する
地域の人材の育成・活用	○生涯学習指導者登録制度により、地域の生涯学習活動の支援のために情報を提供	○生涯学習指導者登録制度の認知度や利活用頻度を高めるため、市ホームページやSNSを活用して情報発信を強化する

一 個別施策 1 7 社会教育施設の整備・管理運営 一

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度 (%)						
区分	基準値	実績値					目標値 (R11)
	[R1]	R2	R3	R4	R5	R6	
-	96.5	97.3					100



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
計画的な施設整備の実施	○老朽化が進んでいるとかちプラザ等の社会教育施設の修繕や設備の更新を実施	○公共施設マネジメント計画に基づき、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む
適切な管理運営の推進	○感染症対策のため、少人数制での開催やオンライン配信等の新たな手法による学習機会を提供	○とかちプラザでは指定管理者による管理運営を継続し、図書館では施設管理のなかでの類似業務について、包括的な管理委託の可能性を検討する

基本施策6 人が輝く文化芸術活動の推進

個別施策18

文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働

成果指標の状況							
指標名	最近10年間に文化芸術の鑑賞活動を行ったことがある市民の割合(%)						
区分	基準値	実績値					目標値
	[R1]	R2	R3	R4	R5	R6	
-	64.7	45.1					65.0以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
市民文化芸術活動の促進	○地元作家による展覧会「北の橋園展」の開催、とかちジュニア文芸第11号の発刊 ○市民の文化芸術活動支援のため、学校施設開放事業の実施	○市民の発表機会や交流の場を提供する事業の継続のほか、とかちジュニア文芸教室の開催により子どもたちの創作意欲を高め、読解力・表現力の向上をはかる ○市民の文化芸術活動支援のため、学校施設開放事業を継続する
文化活動団体の活動支援・指導者育成	○市民が芸術文化活動に参加しやすい環境やきっかけづくりのため、ホームページ等を活用した文化団体の情報提供 ○文化賞、文化奨励賞、文化活動功労賞にて2個人・3団体の表彰のほか、事業補助による文化団体の活動の支援	○文化活動促進のツールのひとつとして文化団体等の活動情報の提供を継続する ○文化活動を行う個人・団体の顕彰や支援を行う
文化芸術の鑑賞機会の提供	○感染症対策を踏まえて鑑賞事業を実施 ○道立帯広美術館の特別企画展「蜷川実花展 虚構と現実の間に」に参画し、市民に芸術の鑑賞機会を提供	○感染症対策を踏まえて市民が文化芸術に直接触れる機会を提供 ○芸術鑑賞機会の提供のため、道立帯広美術館の特別企画展への参画を継続する

個別施策19 文化資源の継承・活用

成果指標の状況							
指標名	市ホームページの文化資源紹介ページの年間アクセス数(件)						
区分	基準値	実績値					目標値
	[R1]	R2	R3	R4	R5	R6	
-	2,161	1,728					2,269以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
文化財等の調査・保存・活用	○文化財の管理及び史跡標識板の修繕、開発行為と埋蔵文化財保護の調整を実施 ○重要文化財「八千代A遺跡出土品」を活用した学校用教材の作成、ふらり帯広・文化財めぐり及び十勝鉄道蒸気機関車4号及び客車コハ23号の公開を実施	○文化財の適切な管理や、必要性に応じた史跡標識板の修繕を行う ○文化財の活用事業を継続するほか、「八千代A遺跡出土品」の適切な保存及び積極的な活用のため、計画的な修理・美化を実施する
アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及	○帯広カムイトウボボ保存会伝承活動の補助のほか、古式舞踊の披露や植物観察会等の講座を実施	○帯広カムイトウボボ保存会伝承活動の補助及び伝統的生活空間再生事業を継続し、アイヌ伝統文化の保存伝承をすすめる
市史資料収集・保存	○令和元年度の出来事をまとめた「年史報告書」の作成、収集事業資料の公開事業として古文書の連続講座を実施	○「年史報告書」作成の継続のほか、令和4年度の帯広開拓140年、市制施行90年の周年事業をみすえた資料収集を行う

個別施策20 文化施設の整備・管理運営

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度(%)						
区分	基準値	実績値					目標値
	[H26~30平均]	R2	R3	R4	R5	R6	
-	83.0	84.3					88.0以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
計画的な施設整備の実施	○利用者の安全性確保及び施設機能の発揮のため、修繕等の施設の機能維持向上に向けた施設整備を実施	○公共施設マネジメント計画に基づき、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む
適切な管理運営の推進	○感染症の影響により利用者数は大きく減少。感染症対策を徹底し安心して利用できる環境づくりの実施	○感染症の影響により利用者数や使用料・利用料収入の増加が見込みにくい状況だが、適切な管理運営と利用者サービスを維持する

基本施策7 笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

個別施策21 多様なスポーツ活動の促進

成果指標の状況							
指標名	市内小学生数に対する帯広市スポーツ少年団登録者数の割合(%)						
区分	基準値	実績値					目標値
	[H27~R1平均]	R2	R3	R4	R5	R6	
-	21.0	18.1					22.0以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
スポーツの振興	○競技大会への派遣支援等で、スポーツ振興及び競技力向上をはかったほか、スポーツ賞にてスポーツ賞功労部門1名を表彰 ○各種大会のほか、合宿・プロスポーツ等の誘致や開催支援を通して、市民へのスポーツ観戦機会を提供	○競技大会への派遣支援やスポーツ賞等による表彰を行うほか、市民へスポーツ観戦機会を提供する ○各競技団体と協力の上、感染症対策を講じながら地域の安全を確保し、合宿等の受入体制を整備する
スポーツ団体の支援・指導者人材の育成	○帯広市スポーツ協会への支援のほか、スポーツ少年団指導者やスポーツ推進委員の育成等の支援による指導者の確保及び育成活動を支援	○感染症対策を考慮し、活動時の安全確保に関する指導者への研修等を通して、スポーツ少年団へ安心して加入できる環境づくりをすすめる
スケート競技の振興	○スピードスケート競技のすそ野拡大や地域応援体制の整備等を通して地域のスポーツ文化であるスケートの普及振興を推進 ○全国高等学校選抜スピードスケート競技会等の各種大会の開催を支援	○スピードスケートをはじめとした各種競技スポーツの普及や、競技者人口の拡大及び競技力の向上に取り組むほか、各種大会等の開催支援を継続する ○各種事業によるスケート競技の普及を促進する。

個別施策22 スポーツによる活力のあるまちづくり

成果指標の状況							
指標名	1年間のうち、する、みる、ささえることでスポーツに関わった市民の割合(%)						
区分	基準値	実績値					目標値
	[R1]	R2	R3	R4	R5	R6	
-	82.4	82.0					87.0以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
地域スポーツの振興	○スポーツ推進委員が中心となって実施する各種スポーツ教室の開催支援のほか、地域住民が自ら企画・運営する6つの総合型地域スポーツクラブの運営を支援 ○市民が身近な場所で気軽にスポーツに親しめるよう、学校施設の開放を実施	○地域で生涯スポーツの振興を担うスポーツ推進委員の担い手確保が困難な状況にあるが、地域でスポーツ活動をする人材や団体の育成支援を継続する ○市民が身近な場所で気軽にスポーツに親しめるよう、学校施設の開放を継続する
スポーツ大会合宿等誘致	○競技団体との連携による各種全国・全道大会やプロスポーツ等の誘致及び開催支援を実施 ○オンライン方式によりフットバレーとかちマラソン大会を開催	○日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会やプロ野球公式戦の開催中止など、感染症による影響が発生している ○感染症対策を講じて地域の安全を確保したうえで、各競技団体と協力して合宿等受入体制を整備する

個別施策23 スポーツ施設の整備・管理運営

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度(%)						
区分	基準値	実績値					目標値
	[R1]	R2	R3	R4	R5	R6	
-	77.3	82.7					82.0以上



主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
計画的な施設整備の実施	○利用者の安全性確保と適切な維持管理のため、帯広の森体育施設高圧ケーブル等改修工事、帯広の森体育館ボイラー改修を実施	○公共施設マネジメント計画に基づき、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む
適切な管理運営の推進	○民間活力を生かした指定管理者制度のほか、パークゴルフ場では指定管理者制度に加え、地域住民や団体の協力を得ながら市民協働による管理運営を実施	○指定管理者制度及び市民協働による管理運営の実施のほか、老朽化の進んだ施設の計画的な改修や指定管理者との連携による施設の効率的な運営をすすめる